

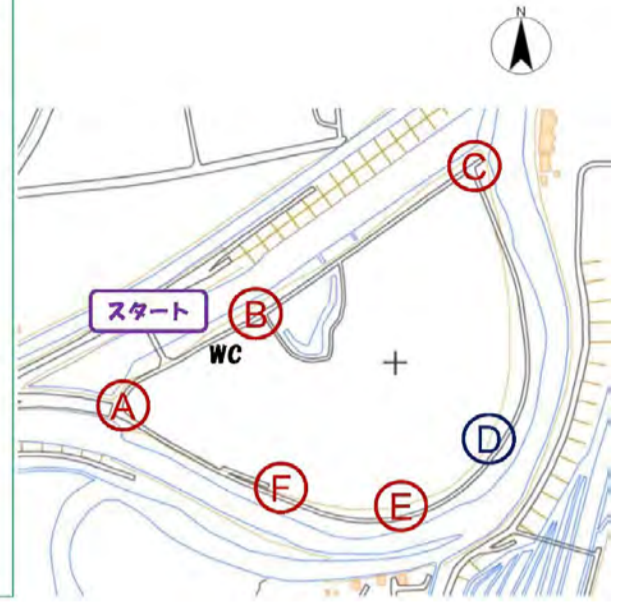
三角島ふるさとの森プロジェクト主催で三角島をフィールドに、一般市民(主に親子)を対象とした探究ウォークを開催。

## ウォークラリー

### 親子で楽しむ 三角島探検

島内6つのポイント  
探して謎を解け!!

- ①スタート  
・ポイントをくじ引き
- ②ウォーキング  
・ポイントをさがす
- ③チェックポイント  
・ワークシートをもらう  
・謎について考える※  
・謎の説明をきく  
・シールを貼る
- ④ゴール  
・11:15までにスタート地点へ  
※Dは体験あり



## 概要

- ①スタート  
・はじめのポイントをくじ引き
- ②ウォーキング  
・地図をみてポイントを探す
- ③チェックポイント  
・ワークシートをもらう  
・ワークシートの謎について考える  
・謎についての説明をきく  
・シールをもらってワークシートに貼る
- ④ゴール  
・11:15までにスタート地点にもどる

## フィールドで探し、考え、記録する

### 水の謎を解け!

### 【謎解きポイント】



Q1左 この水路はどうして出来た?

Q2左 水路の水はどこから来た?

Q3右 この石のトンネルは何?

Q4右 石にはなぜ網がかかっている?

わからないこと・知りたいこと



### 水車の謎を解け!

### 【謎解きポイント】



Q1左 手前と奥の川のちがいは?

Q2右 なぜここに水車がある?

Q3右 水車は水の力で何をします?

Q4右 ここで撮影された映画は?

わからないこと・知りたいこと



## 見つけたモノ・コトの解説をきく





# 三角島ふるさとの森プロジェクト

## 活動紹介

「三角島ふるさとの森プロジェクト」は、万水川の河川改修を機に2005年11月に県が設置した「万水川の景観を語る会」の市民有志が中心となり、2009年2月に設立されました。2009年3月には県と市と3者で河川アダプト契約を締結し、あづみ野ロータリークラブとも連携しながら、市民主体で三角島の豊かな自然環境を後世に継承していくことをめざして活動しています。

- 設立 2009年2月(安曇野ブランドデザイン会議内)
- 目的 『市民主体で三角島の豊かな自然環境を後世に継承していく』
- 主な活動
  - 環境整備 『アレチウリ除去活動』『清掃活動』
  - 体験・交流活動 『スケッチ大会』『自然観察会』『自然体験会』

## 主要な活動の紹介

### ■アレチウリ除去活動

ウリ科の外来種アレチウリ(生態系へ被害を及ぼす可能性あり)の繁茂が目立つため、その除去活動や一帯の清掃活動を実施。



### ■スケッチ大会

市民参加のイベントとして、地元の画家を講師にお迎えし、「三角島の自然を描く集い」を開催。



### ■自然観察・自然体験会

水生昆虫観察やクリアボート体験、植樹祭やスケッチ大会等、三角島ならではの湧水や自然景観を生かした体験会を開催。



## 三角島の位置・変遷



### 三角島と周辺の変遷①

昔は大雨のたびに洪水となり、三角島の周辺も川が氾濫して、樹木がなかなか大きくなれない場所でした。



### 三角島と周辺の変遷②

堤防や護岸の整備、上流のダム建設により、洪水が少なくなり、今は河原に樹木が茂ってきました。



## 三角島プロジェクトのあゆみ

➢2004年(平成16年)台風16号により万水川が氾濫。大王わさび農場駐車場は、浸水被害を受ける。➢長野県は、氾濫防止のため万水川に護岸を計画。

➢河川工事による安曇野の重要な景観と環境を損なうことのないよう、2005年(平成17年)に当プロジェクトの前身となる「万水川水車小屋周辺の景観を語る会」が結成され、市民参加による景観保全の議論がスタート。

➢2006年(平成18年)には長野県への提言書をまとめ、あづみ野ロータリークラブの協力も得て、2009年(平成21年)に「三角島ふるさとの森プロジェクト」として再スタート。

➢県・市と三者で締結した河川アダプトプログラム事業(長野県河川愛護活動支援事業)、年4回の清掃活動、年2回の子ども対象のイベント実施などが評価され、2013年(平成25年)2月国土交通省北陸地方整備局より「手づくり郷土賞」を受賞。

➢2019年(平成31年)3月道路河川愛護活動知事表彰。



表彰式の様子  
2013年(平成25年)2月20日